

件名	義務教育課程における平和教育に係る課題図書に関する陳情			
提出者 住所氏名	埼玉県北葛飾郡杉戸町倉松 F			
受理年月日	平成28年2月23日	受理番号	第14号	
<p>要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 義務教育課程において、平和教育の一環として、広島原爆の被爆者による自伝である漫画「はだしのゲン」を課題図書にしてください。</li> <li>2 当該図書を、学校図書館及び区立図書館の「平和教育」を思わせるフレーズを含んだ目立つ様態での特別なスペースに置いてください。</li> </ol> <p>(理由)</p> <p>近頃、動物の殺処分及び国政における戦闘的態勢の推進、歪曲した愛国心及び人権意識の助長、アイヌ及び在日朝鮮人への差別及び弾圧並びに戦犯の英霊化及び神格化などを、著しく不当に合理化、擁護若しくは賛美し、又は正当化する情勢が加速しつつあります。</p> <p>また、保守、革新及び中立不問で、日本国民が己を正当化させ、自身に不都合な相手を一律悪と決め付け、又はこれに不当若しくは過剰な怨恨呪詛を抱き、淘汰しようとする傾向に陥りつつあります。</p> <p>そもそも、保守、革新又は中立のいずれにおいても、その自由が保障されており、それぞれが平等に良心及び正義に基づく存在です。</p> <p>しかしながら、保守、革新及び中立のいずれに属する者たちにおいても、互いに他者の存在、意見若しくは思想を否定し、又はこれを悪とみなし、杓子定規に怨恨呪詛に充満した「反対」のフレーズの連呼をします。自身の意見に染めることは、分かり合うことではありません。</p> <p>いかに各自に正義の意図があろうとも、「反対」を連呼し、又は相手を悪と決め付けた時点で、彼ら自身が、他者を理解しようとも努めない、他者への思いやりのない攻撃的な悪に轉身します。</p> <p>この悪に、保守も革新も中立もありません。</p> <p>古き良き昭和の大和魂を取り戻すためにも、今一度、平和教育に尽力する必要があります。異なる意見を認めることが、分かり合うことです。</p> <p>残念ながら、この戦争の問題は、活字情報だけではその悲惨さは伝わりません。活字だけでも相当に強烈な描写であり、さらに情け容赦ないハードなタッチのイラストも加わった上での暴力描写満載の戦争漫画である「はだしのゲン」にあっては、物議を醸すものの、戦争の悲惨さを直球で伝達する極めて有用なメディアであるとともに、活字及び画像媒体の芸術作品としても至高の傑作図書として知られています。</p> <p>戦争の悲惨さと併せて命の尊さを学ぶことで、人間形成に相当に良好な影響を与え、将来、まっとうな成人になることと思料されます。</p>				

これにより、わが国における猟奇的又は凶悪な犯罪が減少するとともに、平和的外交へ向けた寄与をなせるものと期待できます。

以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。

以 上